

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録

(要点筆記)

会議名	平成23年度 第3回 子ども読書活動推進会議
開催日時	平成23年8月30日(火) 15:00~17:00
開催場所	大和市立図書館 3F 視聴覚研修室
出席状況	出席委員 伏見暢子 高田禮子 今宮智子 小西雅子 古木幸一 岡田雅江 押田富士子 池亀和子 奥村文子 (順不同・敬称略)
	欠席委員 野口麻里子 櫻本武志 野口治子 今井美和子 古田由美子 (順不同・敬称略)
	市側出席者 図書館長 事務局職員(2名)
	傍聴人人数 無し
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
審議又は検討経過及び結果	<p>議事</p> <p>櫻本委員より大和市転出のため、辞任の申し出あり。</p> <p>(1) 子どもの読書についての調査報告</p> <p>事務局より第二次子ども読書活動推進計画策定のためのアンケート結果についての報告。</p> <p>委) 保育園では、全体を通して、進んできていると思う。全公立保育園では、ボランティアの方にきていただき、読み聞かせ等行っている。</p> <p>委) 私立幼稚園では、公的なフォローがないという状況があり、保護者の一部の方に読み聞かせ等をしていただくのが自然な流れと考えている。ボランティアの方など第三者にきていただくことは、これからの検討課題。</p> <p>委) 小学校では、アンケート結果にも表れているが、施設がよくなり、司書が、常に子どもの質問に答えてくれ、課題図書を紹介、図書館だより作成、授業の支援、調べ学習等、これが続くとよくなると思われる。</p> <p>委) 中学校では、司書が配置されるが、本校の例では、実務経験がない。また来年度から、新学習指導要領が適用されることから、朝読書に使える時間が保証されず、このままでいくと、あまり明るい見通しが無い。</p> <p>委) アンケート結果をみると、身近な所に本があったり、小さい頃本を読んでもらったりと、読書に親しむことが大事なことだと思う。</p> <p>委) 学校図書館に行かない理由に、「必要な本がない」という答えがあったが、次にアンケートをとるとき、「どんな本があったら図書館に行きますか?」という設問を作してほしい。</p> <p>委) 中学校では、ケータイ小説、シリーズものなどの本のリクエストがあるが、</p>

なかなか学校にはおけない図書も多い。

委) 高校生の調査結果では、本を読むことが【好き】、【大好き】の割合が小中学生と比べ、だんだん下がってくる。生活や精神的なゆとりが関係しているのではないかと思う。

事) 読書をすることによって、いろいろな選択肢を見つけ、自己判断ができるようになると思われる。そのために環境を整備していくのが、私たちの使命だと考えている。

委) 子どもが小さい頃に本にふれあうように予算を取ってほしい。

事) 大和市ではブックスタート等、予算は増えている。

(2) 第一次子ども読書推進計画の検証について

事務局より第一次子ども読書推進計画の検証の結果について報告

(3) その他

スケジュールについて

事) 現在、素案策定に着手しており、10月に子ども読書推進会議、社会教育委員会などを経て、10月半ばまでに第二次計画の素案をつくり、その後庁議、経営会議等に諮り、12月にはパブコメを実施、2月には、教育委員会の諮問を、社会教育委員会議で審議し、答申をいただき、3月末には計画の公表というスケジュールを考えている。